広報うちこ
UCHIKO
2014 October vol.204
10

発行／内子町　〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
☎0893(44)2111(代)／fax(44)4300
http://www.town.uchiko.ehime.jp
info-uchiko@town.uchiko.ehime.jp

内子分庁　〒791-3392 内子1515番地
☎0893(44)2112(代)／fax(44)6135
小田支所　〒791-3592 小田81番地
☎0892(52)3111(代)／fax(52)2303

編集：広報うちこ編集委員会

住人十色

第65回

内子町在住の生徒と先生が活躍
日本学校農業クラブ全国大会へ

大洲農業高等学校プロジェクト発表チームの皆さん

◎（後列左から）水本先生、二宮先生（前列左から）金元さん、花岡さん、佐伯さん。大洲農業高等学校に掲げられた懸垂幕の前で。

「第65回日本学校農業クラブ四国大会」で、大洲農業高等学校がプロジェクト発表の「環境」「食料・生産」の2部門で最優秀となり、10月22日から沖縄県で開かれる全国大会に出場します。この大会は生徒たちが日頃の学習成果を発表する、農業高校の甲子園。同校は内子町在住の水本豊先生（生産科学科）、二宮忠士先生（食品化学科）の指導で「肱川の環境保全」「町の伝統野菜」などの研究をまとめました。

校訓が「どこに出しても恥ずかしくない人間になれ／国家社会の役に立つ人間になれ」という大洲農業高等学校。地域に開かれた学校として、内子町や大洲市で商品開発やイベント参加、河川保全など、さまざまな活動を行っています。

プロジェクト発表チームの一員で、内子町在住の花岡朋乃さん、佐伯茉耶さん、金元寛樹さんは「活動内容はどこにも負けない」「人との関わりが好きになる活動」「学習したことが将来に役立つ」と発表内容に自信をのぞかせます。

二宮先生が「大会ごとに成長する生徒たちの姿がうれしい。自分たちの頑張りを全国大会でしっかり発表してほしい」と激励すると、水本先生は「地元の農業高校として、これからも生徒たちと共に地域に貢献したい」と力強く語りました。

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

編集幸記

▽私の家では犬1匹、猫2匹を飼っています。家の中で、幸せそうにゴロゴロしている3匹と妻を見ると癒されます。取材では、命の大切さをあらためて学ぶことができました。少しでも早く、不幸な動物たちがいなくなることを願います（裕）

▽今月の「はじめてのバースデー」は、久しぶりにページが埋まりました。いろんな表情があり、また名前には家族の想いを感じ、毎月ほほ笑ましく心和みます。そして、「40回目のバースデー」を迎える私なのでした（佳）

広報うちこは環境に優しい植物油インキを使用しています。
読み終えたら綴じて保存してください。
きっとまたお役に立つときがあります。
VEGETABLE OIL INK